

一般社団法人 日本原子力学会
第 98 回 標準委員会 議事録

I - 1 日 時：2024 年 12 月 4 日（水）13：30 ～ 17：35

I - 2 会議方式：Web 会議

I - 3 出席者（敬称略）

（出席委員）山本委員長，西山副委員長，每熊幹事，青野，井口，石川，今井，牛尾，岡本，小澤，木倉，黒田，佐々木，清水，菅谷，曾根田，高田，竹山，戸澤，成宮，西田，椋木（22 名）

（代理出席）鬼沢邦雄（岡本委員代理，システム安全専門部会副部会長，16 時以降）
桐本順広（酒井委員代理，電力中央研究所）
栗坂健一（山野委員代理，日本原子力研究開発機構）（3 名）

（欠席委員）乾，田中（2 名）

（欠席フェロー委員）宮野（1 名）

（委員候補者）阿部弘亨（東京大学）（1 名）

（常時参加者）佐々木，鈴木（2 名）

（欠席常時参加者）岡田，富田，藤澤（3 名）

（常時参加者候補）田中正人，南明穂（原子力規制庁）（2 名）

（説明者）【リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会】片桐委員

【リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 地震 PRA 作業会】

根岸幹事，錦見幹事，高橋委員，藤岡委員

【リスク専門部会 JIWG】西村コーディネータ

【システム安全専門部会 PLM 分科会】中川幹事，櫛崎常時参加者

【システム安全専門部会 水化学管理分科会】河村主査，平幹事，宮重常時参加者

【システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク】村上主査，中川委員

【システム安全専門部会 BWR 熱流動評価分科会】工藤主査，尾崎常時参加者

【基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会】杉山幹事，西村委員，工藤委員

【基盤応用・廃炉技術専門部会 放射線遮蔽分科会】奥野幹事

【基盤応用・廃炉技術専門部会 遮蔽材料標準作業会】中田主査

【原子燃料サイクル専門部会 ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会】高橋幹事

【原子燃料サイクル専門部会 LLW 放射能評価分科会】田村幹事，駒月委員，中島委員

【標準活動基本戦略タスク】每熊主査，黒田幹事，鬼沢委員，桐本委員，清水委員

【原子力安全検討会】粥川幹事（延べ 30 名）

（事務局）大沼，正岡，平野（3 名）

I - 4 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

II 議事内容

事務局から、委員(フェロー委員含め)27名中、開始時点で23名の出席があり、委員会成立に必要な定足数(18名以上)を満足している旨の報告があった。その後、会議中に出席の委員があり、最終的に24名の出席となった。

1. 前回議事録の確認 (SC98-1)

前回議事録(案)については既に配付・修正されているものであり、特にコメント無く、承認された。

2. 人事について

(1) 標準委員会

資料 SC98-2-1 に基づき、標準委員会の人事について以下の提案及び報告があった。

① 理事会による委員選任承認の確認

乾 智彦	関西電力	2024.10.30 理事会承認
------	------	------------------

② 委員退任の確認

関村 直人	東京大学	2024.11.30
-------	------	------------

③ 常時参加者登録解除の確認

戸田 薫	原子力規制庁	2024.12.02
------	--------	------------

山田 創平	原子力規制庁	2024.12.02
-------	--------	------------

④ 委員選任の決議

糸井 達哉	東京大学	2025.01～2026.12
-------	------	-----------------

⑤ 委員再任の決議

山本 章夫	名古屋大学	2025.03～2027.02
-------	-------	-----------------

竹山 弘恭	中部電力	2025.03～2027.02
-------	------	-----------------

棕木 敦	日揮	2025.03～2027.02
------	----	-----------------

⑥ 職務委員の選任

阿部 弘亨	東京大学	2025.02～2027.01
-------	------	-----------------

⑦ 常時参加者登録承認

田中 敦也	原子力規制庁	
-------	--------	--

南 明穂	原子力規制庁	
------	--------	--

理事会による委員選任承認等が確認され、また、審議の結果、委員の選任等が決議された。

部会長として承認され、職務委員として選任された阿部委員からご挨拶をいただいた。

また、標準委員会委員として本日が最後の出席となる岡本委員から、標準委員会には設立初期から参加してきたが、福島事故を防げなかったことが大きな反省であり、また断層変位に係るリスク評価の標準を出しているが NRA の理解が得られず敦賀が審査で不適合とされたことが残念、原子力の安全を高めるために標準委員会は活動しているがまだそこに至っていない、これからもより安全な原子力発電所に向けて活動を活発化するよう期待する、の旨のご挨拶をいただいた。

(2) 専門部会

資料 SC98-2-2 に基づき、専門部会の人事について以下の提案及び報告があった。

(2)-1. リスク専門部会

① 委員退任の確認

竹内 裕行	東芝エネルギーシステムズ	2024.10.25
糸井 達哉	東京大学	2024.12.03

② 委員選任の承認（決議）

大鳥 靖樹	東京都市大学	2024.12～2026.11
佐藤 寿樹	東芝エネルギーシステムズ	2024.12～2026.11

③ 委員再任の承認（決議）

高田 毅士	日本原子力研究開発機構	2025.03～2027.02
-------	-------------	-----------------

(2)-2. システム安全専門部会

① 委員選任の承認（決議）

中野 佑介	日本原子力発電	2024.12～2026.11
竹内 裕行	東芝エネルギーシステムズ	2025.01～2026.12

② 委員再任の承認（決議）

杉野 亘	日本エネルギー経済研究所	2025.03～2027.02
北島 庄一	電力中央研究所	2025.03～2027.02

③ 部会長選任決議の承認（決議）

阿部 弘亨	東京大学	1 期目（2025.02～2027.01）
-------	------	-----------------------

(2)-3. 基盤応用・廃炉技術専門部会

① 委員選任の承認（決議）

名内 泰志	電力中央研究所	2025.01～2026.12
-------	---------	-----------------

② 委員再任の承認（決議）

石川 顕一	東京大学	2025.02～2027.01
-------	------	-----------------

(2)-4. 原子燃料サイクル専門部会

① 委員退任の確認

高橋 秀治	東京工業大学	2024.08.31
柳原 敏	福井大学	2024.11.30

② 委員選任の承認（決議）

浅見 光史	海上・港湾・航空技術研究所	2024.12～2026.11
福元 謙一	福井大学	2024.12～2026.11
伊藤 剛	日立・GE ニュクリアエナジー	2025.02～2027.01

③ 委員再任の承認（決議）

小松原 勝	東芝エネルギーシステムズ	2025.03～2027.02
-------	--------------	-----------------

(2)-1～4 の各専門部会について、委員の退任等が確認され、委員の選任・再任が承認された。

(3) 標準活動基本戦略タスク

SC98-2-3 に基づき、標準活動基本戦略タスクの人事（委員 1 名の追加）が説明された。

3. 審議事項

(1) 【報告・審議】（書面投票後の修正）

“外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”改定原案に関する書面投票後の修正について

（担当：リスク専門部会 外的事象PRA分科会 片桐委員）

説明者から SC98-3-1-1～4 に基づき、書面投票後の修正について説明があった。審議の結果、この修正案にて1か月間の公衆審査へ移行することが決議された。

特に質疑、コメント等はなかった。

(2) 【報告・審議】（書面投票の結果）

“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”改定案の書面投票の結果及び受け付けた意見の対応について

（担当：事務局、原子燃料サイクル専門部会 ウラン・TRU取扱施設クリアランスレベル検認分科会 高橋幹事）

事務局から SC98-3-2-1 に基づき、題記に関する書面投票の結果、可決となり、賛成で5名の委員から意見があったことが報告された。引き続き、説明者から SC98-3-2-2～4 に基づき、意見への対応等につき説明があった。審議の結果、この改定案にて1か月間の公衆審査へ移行することが決議された。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

Q：附属書Bのフローチャート及び改定前の本文(6.3.1)では10tまでの記載があったが、今回の改訂版本文では変わっている（10トンを超えない）。意味は同じだが、図B.1の“10トンまで”は変えるべきではないか？

A：フローチャートは不鮮明であるとのコメントがあり修正し直すことになっている。その際に、審査基準の文言に合わせる。

(3) 【報告・審議】（本報告）

“原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補5）”標準改定原案に関する本報告について

（担当：システム安全専門部会 PLM分科会 中川幹事，櫛崎常時参加者）

説明者から SC98-3-3-1～2 に基づき、題記の標準改定案に関する本報告があり、審議の結果、30日間の書面投票へ移行することが決議された。

特に質疑、コメント等はなかった。

(4) 【報告・審議】（本報告）

“沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X”及び“沸騰水型原子炉の水化学分析方法”（3件）の改定原案に関する本報告について

（担当：システム安全専門部会 水化学管理分科会 河村主査，平幹事，宮重常時参加者）

説明者から SC98-3-4-1-1～SC98-3-4-3-4 に基づき、題記の標準改定案に関する本報告があり、審議の結果、30日間の書面投票へ移行することが決議された。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

Q：管理指針に関し、原子力安全についてまえがき等で言及しているが、本文等にも具体的に反映しているのか。

A：解説の4「制定後のフォロー」において、考え方とPDCAへの反映を行っている。

Q：管理指針の実態としては、今後拡充することになるのか。

A：今のところ具体的な管理値等としては盛り込んでいないが、一例として、解説の8.1

に、燃料被覆管の健全性維持に関連し、シリカ等の不純物管理に関する考え方を追記し

た。

C：理解した。核燃料部会でロードマップをローリングしており、その最新動向を参照しながら、必要なものを今後の改定に取り入れてほしい。

(5)【報告・審議】（最終報告）

“原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”技術レポート原案に関する中間報告で受け付けた意見への対応について

（担当：リスク専門部会 地震PRA作業会 根岸幹事，錦見幹事，高橋委員，藤岡委員）

説明者から SC98-3-5-1～3 に基づき、題記の技術レポート原案に関する最終報告があり、審議の結果、30 日間のコメント受け付けを行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q：前回の中間報告版からの差分はどこになるか。

A：標準委員会コメント対応表に示した以外の差分は、リスク専門部会や地震 PRA 作業会のコメント対応表に整理している。これらの差分は主に誤記，表現の見直し等であることから比較表は作成していないが、必要があれば作成・提出する。

C：標準委員会として編集上の差分をレビューする必要はないため提出は不要とし、30 日間のコメント受付を行うこととする。

(6)【報告・審議】（最終報告）

“世界最高水準の安全な長期運転を効率的に実現するための取り組みについて（体系的な標準類の再整備）”技術レポート原案に関する最終報告について

（担当：システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク 村上主査，中川委員）

説明者から SC98-3-6-1～3 に基づき、題記の技術レポート原案に関する最終報告があり、審議の結果、30 日間のコメント受け付けを行うことが決議された。

なお、岡本部会長から、標準委員会における技術レポートの審議全般について、標準の審議との差別化を図るよう要望があった。

特に質疑，コメント等は無かった。

(7)【報告・審議】（最終報告）

“実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”技術レポート原案に関する最終報告について

（担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 杉山幹事，西村委員，工藤委員）

説明者から SC98-3-7-1～3 に基づき、題記の技術レポート原案に関する最終報告があり、審議の結果、30 日間のコメント受け付けを行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q：この技術レポートを発刊した後、どのように活用するか。

A：今後の予定に記載しているとおり，具体的な運用を見据えた「耐震安全の考え方：2013」の改定に，基本的な考え方をまとめたこの技術レポートを活用していきたい。

(8)【報告】（中間報告で受け付けた意見対応）

“外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：202X”技術レポート改定原案に関する中間報告で受け付けた意見への対応について

（担当：リスク専門部会 外的事象PRA分科会 片桐委員）

説明者から SC98-3-8-1～4 に基づき、題記の技術レポート改定案に関する中間報告で受け付けた意見への対応について報告があった。引き続き最終報告へ向けて検討を進めることとした。

特に質疑，コメント等は無かった。

(9)【報告・審議】（中間報告）

“BWRの時間領域核熱水力安定性評価基準：202X” 標準原案に関する中間報告について

（担当：システム安全専門部会 BWR熱流動評価分科会 工藤主査，尾崎常時参加者）

説明者から SC98-3-9-1～3 に基づき，題記の標準原案に関する中間報告があり，審議の結果，30 日間の意見募集を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q：この標準が制定されたら，どのように活用するか。

A：設置（変更）許可（EP）申請における安全評価及び取替炉心の安全解析に TRAC 系コードが導入された後，従来，周波数領域で評価している核熱水力安定性を時間領域で評価する可能性があり，この標準を活用できる。

Q：現在，TRAC 系コードの導入及び 10×10 燃料の型式証明に係る議論が行われているが，この標準が適用されるのは，その後の実際の申請からになるのか？

A：10×10 燃料の EP 申請時に時間領域での核熱水力安定性評価を採用する可能性があるため，申請時期と合わせて速やかに活用することになると考える。

Q：適用範囲として，プラント安定性を含むのか。新型炉，革新炉もスコープに入れているか。

A：プラント安定性にかかわって評価が必要となる核熱水力安定性を適用範囲に含んでいる。現状では，新型炉及び革新炉は適用範囲には含めていない。

Q：海外の関連する評価手法が整備されてきているとのことだが，一方で海外の規格はないとの調査結果であり，規格は無いとはいえ時間領域が活用されているという意味合いはどういうものか。

A：海外では規格に相当するものはないが，メーカーが発行しているトピカルレポートを中心に，参考及び活用することができる図書がある。

Q：附属書 B 以降はこれから作成とのことだが，出来た時点でもう一度中間報告するか。

A：附属書 B などの附属書（参考）及び解説の内容が整った後は，中間報告ではなく，本報告として，専門部会及び標準委員会に報告する予定である。

(10)【報告・審議】（中間報告）

“放射線遮蔽計算に用いる材料組成（コンクリート編）” 標準原案に関する中間報告について

（担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 放射線遮蔽分科会 奥野幹事，

基盤応用・廃炉技術専門部会 遮蔽材料標準作業会 中田主査）

説明者から SC98-3-10-1～2 に基づき，題記の標準原案に関する中間報告があり，審議の結果，30 日間の意見募集を行うことが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(11)【報告】

L1放射能評価標準の技術評価対応への振り返りについて

（担当：原子燃料サイクル専門部会 LLW放射能評価分科会 田村幹事）

説明者から SC98-3-11 に基づき，題記に関する報告があった。本件については，特に期間を定めないが，委員各位が内容を確認し事務局へコメントを連絡すること，そのうえで，次回の標準委員会において時間を十分とって議論することとした。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

C：資料の 2. に，認識の違いがあったことが課題として記載されているが，技術評価とい

う作業自体が何なのかを認識していただきたい。技術評価は審査基準を作る仕事である。行政庁は審査基準を作成しなければならない。できるだけ具体的に記載することとなっている。認識に相違があったとすれば、技術評価が審査基準を作成する作業であるということについて申請してきた事業者の認識の相違、または事業者と学会の間の認識の相違であろうと思われる。この点に注意して、この資料全体を作成してほしい。

(12) 【報告】（趣意書）

“中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順：2019”の改定について

（担当：原子燃料サイクル専門部会 LLW放射能評価分科会 田村幹事, 駒月委員, 中島委員）

説明者から SC98-3-12 に基づき、題記の標準改定案に関する改定の趣意について報告があった。本日のコメントを踏まえて趣意書を改定のうえ、標準改定の検討を進めることとした。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

Q：標準の改定時には新知見の取り込みを行うが、今回も行うか。

A：従来の新知見の有無に加えて、技術評価を受けることを踏まえて根拠が不足しているところの拡充を考えている。

C：同じ対象規格をもう一度エンドースするには 10 年程度間が開くことを考えること。

A：ATENA と調整しながら、技術評価の時期を考えたい。

C：規格類協議会の場での調整となる。

C：資料の 1. 提案事項の記載に関し、標準委員会は NRA のために標準を作成しているのではない。重要なステークホルダーである事業者と規制が使いやすい形で標準を改定するものである。見直しが必要。

C：そのとおり。使う事業者が的確に使える規格になっていればよい。エンドースするかどうかは審査基準になるかどうかの違いであり、何でもエンドースを目指す必要はない。申請の際にきちんと説明できればよい。そのようにエンドース無しで実質的に使われている規格は多い。本当に技術基準に取り入れて審査基準にする必要があるのか、先に検討すべきである。

(13) 【報告】

JCNRM への参加報告について

（担当：リスク専門部会 JIWG 西村コーディネータ）

説明者から SC98-3-13 に基づき、ASME/ANS JCNRM への参加状況について報告があった。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

C：補足情報として、JCNRM において NRA の参加の要望がでており、参加できる形態等を打合せすべく調整している。

C：重要情報を含んでおり、関係各所との情報共有をお願いする。

4. 標準活動基本戦略タスク・原子力安全検討会の活動

(4-1) 【報告】

標準活動基本戦略タスクの報告と論点

（担当：標準活動基本戦略タスク 毎熊主査, 事務局）

説明者から SC98-4-1-1～3 に基づき、標準活動基本戦略タスクの議事録、標準委員会の全体工程の資料紹介があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

(4-2) 【報告】

原子力安全検討会の議論状況について

(担当：原子力安全検討会 粥川幹事)

説明者から SC98-4-2 に基づき、原子力安全検討会の議論状況について報告があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

(4-3) 【報告】

倫理教育について

(担当：標準活動基本戦略タスク 清水委員)

説明者から SC98-4-3 に基づき、倫理教育の実施状況について報告があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

(4-4) 【報告】

JIS Z 4001 の廃止対応について

(担当：標準活動基本戦略タスク 黒田幹事)

説明者から SC98-4-4-1～4 に基づき、題記に関する対応の検討状況について報告があった。まだ正式に廃止されていないので、METI から正式な廃止が示されてから、具体的な標準作成ガイドラインの改定等の段階に移行する。

これに関連して、NRA においても HP に用語集のページがあり、現在は「準備中」となっている。このページの状況について情報があれば連絡いただくこととした。

また、資料 98-4-4-1 の最後の「＜今後＞JIS Z 4001 廃止における原子力用語の在り方」については、JIS Z 4001 が廃止されてからの状況や、NRA の状況を確認してから、今後検討していくこととした。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

Q：辞典としての用語の記載（定義だけでなく説明も含めるもの）と、標準における用語の定義の記載とは異なるものになるのではないか。

A：標準の中の用語の定義として、説明までは記載しない。

C：将来の話として、説明のようなものは ATOMICA 等で良いようにも思われる。

(4-5) 【報告】

企画セッションについて

(担当：標準活動基本戦略タスク 鬼沢委員、桐本委員)

説明者から SC98-4-5-1～2 に基づき、秋の大会の企画セッションの実施結果と、春の年会の企画セッションの提案・採用決定について報告があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

5. その他

- ・次回は 2025 年 3 月 5 日（水）10 時から開催予定。

【配付資料】

SC98-0	第 98 回標準委員会議事次第
SC98-1	第 97 回標準委員会議事録（案）
SC98-2-1	人事について（標準委員会）（案）

- SC98-2-2 人事について（専門部会人事案件一覧）
- SC98-2-3 標準活動基本戦略タスク委員名簿
- SC98-3-1-1 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”（書面投票後の修正について）
- SC98-3-1-2 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”改定原案における SSG-3 改定内容の反映について（“表 A.2 IAEA ガイド記載の外部ハザード”の比較）
- SC98-3-1-3 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”の転載許諾のための文献リスト及び転載箇所対比表
- SC98-3-1-4 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”（改定原案 完本）
- SC98-3-2-1 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”改定案に関する書面投票【SC24-05】の結果について
- SC98-3-2-2 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（書面投票結果の報告）
- SC98-3-2-3 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（新旧比較表）
- SC98-3-2-4 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（改定案 完本）
- SC98-3-3-1 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補 5）”（本報告）
- SC98-3-3-2 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補 5）”（改定案 完本）
- SC98-3-4-1-1 “沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X”（本報告）
- SC98-3-4-1-2 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－コバルト 60 イオン：202X”（本報告）
- SC98-3-4-1-3 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－よう素 131：202X”（本報告）
- SC98-3-4-1-4 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－金属不純物：202X”（本報告）
- SC98-3-4-2-1 “沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X”（改定案 完本）
- SC98-3-4-2-2 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－コバルト 60 イオン：202X”（改定案 完本）
- SC98-3-4-2-3 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－よう素 131：202X”（改定案 完本）
- SC98-3-4-2-4 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－金属不純物：202X”（改定案 完本）
- SC98-3-4-3-1 沸騰水型原子炉の水化学管理指針 新旧比較表（案）
- SC98-3-4-3-2 沸騰水型原子炉の水化学分析方法－コバルト 60 イオン 新旧比較表（案）
- SC98-3-4-3-3 沸騰水型原子炉の水化学分析方法－よう素 131 新旧比較表（案）
- SC98-3-4-3-4 沸騰水型原子炉の水化学分析方法－金属不純物 新旧比較表（案）
- SC98-3-5-1 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”（技術レポート原案 最終報告）
- SC98-3-5-2 標準委員会（中間報告）コメント対応表
- SC98-3-5-3 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”（技術レポート原案 完本）
- SC98-3-6-1 長期運転体系検討タスク 技術レポート原案の標準委員会の意見対応
- SC98-3-6-2 “世界最高水準の安全な長期運転を効率的に実現するための取り組みについて（体系的な標準類の再整備）”技術レポート 20XX（最終原案報告）案
- SC98-3-6-3 “世界最高水準の安全な長期運転を効率的に実現するための取り組みについて（体系的な標準類の再整備）”（技術レポート原案 完本）
- SC98-3-7-1 “実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”耐震安全技術レポート 最終報告
- SC98-3-7-2 “実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”耐震安全技術レポート 新旧比較（抜粋）
- SC98-3-7-3 “実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラ

	ス設定の考え方”（案）（技術レポート原案 完本）
SC98-3-8-1	“外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：202X”（中間報告で受けた意見への対応について）
SC98-3-8-2	“外部ハザードに対するリスク評価方法に関する手引き：202X”技術レポート改定原案に関する意見募集【RKTC24-03】の結果について
SC98-3-8-3	“外部ハザードに対するリスク評価方法に関する手引き：202X”技術レポート改定原案に関する中間報告で受けた意見への対応内容（標準委員会）
SC98-3-8-4	“外部ハザードに対するリスク評価方法に関する手引き：202X”技術レポート（改定案完本）
SC98-3-9-1	“BWR の時間領域核熱水力安定性評価基準（仮称）：202X”（中間報告）
SC98-3-9-2	補足説明 BWR の時間領域安定性評価の実施基準の概要
SC98-3-9-3	“BWR の時間領域核熱水力安定性評価基準：202X”（案）（完本）
SC98-3-10-1	「放射線遮蔽計算に用いる材料組成（コンクリート編）」（案） 中間報告
SC98-3-10-2	“放射線遮蔽計算に用いる遮蔽材料組成（コンクリート編）：202X”（標準原案 完本）
SC98-3-11	L1 放射能評価標準の技術評価対応への振り返り（最終版）
SC98-3-12	趣意書「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順：2019（AESJ-SC-F015：2019）」の改定について（案）
SC98-3-13	ASME/JCNRM 参加報告
SC98-4-1-1	標準活動基本戦略タスク 2024 年度第 3 回議事録（案）
SC98-4-1-2	2024 年度第 2 回標準活動運営委員会議事録（案）
SC98-4-1-3	標準委員会活動全体計画（案）（年間工程表）
SC98-4-2	第 46 回 原子力安全検討会 議事録（案）
SC98-4-3	2024 年度倫理教育の実施状況について
SC98-4-4-1	「標準作成ガイドライン：2020」における JIS Z 4001 廃止への対応について
SC98-4-4-2	標準委員会規定類の合理化検討（気付き事項）
SC98-4-4-3	AESJ-SC-M001：2020_標準作成ガイドライン 新旧比較表（案）
SC98-4-4-4	“標準作成ガイドライン：202X”（案）（完本）
SC98-4-5-1	2024 年秋の大会 標準委員会 企画セッション 議事報告
SC98-4-5-2	2025 年春の年会（3/12-14 オンライン（Zoom））企画セッション提案書
SC98 参考 1	標準委員会委員名簿
SC98 参考 2	標準委員会出席状況
SC98 参考 3	標準委員会の活動状況
SC98 参考 4	専門部会の活動状況
SC98 参考 5	2024 年度の標準委員会開催日について

以 上